

別記様式(第5条関係)

会 議 録

会 議 の 名 称		令和元年（平成31年）第13回定例会
開 催 日 時		令和元年11月14日（木） 午前 9時30分から 午前10時03分まで
開 催 場 所		福津市役所 本館2階 庁議室
委 員 名		(1) 出席委員 柴田教育長、藤井委員、今村委員 (2) 欠席委員 青木委員、半澤委員
所 管 課 職 員 職 氏 名		榊教育部長、重富教育部理事兼教育総務課長、神山学校教育課長、八尋郷育推進課長、堀田文化財課長、永松主幹兼指導主事、伊澤指導主事兼教育指導係長、藤岡指導主事兼教育指導係長、笹田総務企画係長、松本
会 議	議 題 (内 容)	・報告 ・その他
	公開・非公開の別	☒ 公開 ☐ 非公開 ☐ 一部公開
	非 公 開 の 理 由	
	傍 聴 者 の 数	2人
	資 料 の 名 称	
会 議 録 の 作 成 方 針		☐ 録音テープを使用した全文記録
		☒ 録音テープを使用した要点記録
		☐ 要点記録
会 議 録 署 名 委 員		柴田教育長
		今村委員
そ の 他 の 必 要 事 項		

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、結論等）

1 日程第1 開会の宣言

柴田教育長：それでは皆さん、おはようございます。

令和元年（平成31年）第13回福津市教育委員会定例会を始めたいと思います。教育委員構成員5名中、本日は青木委員と半澤委員が所用で御欠席ですが、ただいまの出席委員は、3名で定足数に達し、委員会は成立しましたので開会したいと思います。

直ちに会議を開きます。議事日程はお手元に配付のとおりです。

2 日程第2 会議録署名委員の指名について

柴田教育長：規則第16条の規定に基づき、会議録は私、柴田と今村委員で確認、署名することといたします。よろしくお願いします。

3 日程第3 報告事項

柴田教育長：本日の議題はございません。

日程第3報告事項です。教育長の動静報告は、いつものように紙面でお配りしているとおりでございます。ご覧いただければと思います。

特に教育委員の方に御関係がありましたのは、各学校の小学校の総合文化祭、あるいは学校訪問等だと思います。

何かこのことについてお聞きになりたいことはありませんか。

それでは、諸報告に参りたいと思います。

管内教育長会が先だって開催をされました。その報告を伊澤指導主事のほうからお願いします。

伊澤指導主事：失礼いたします。

資料の2ページからになります。4点あります。

1つ目は、事務局等職員等及び教職員の人事異動方針です。来年度に向けての人事異動のヒアリングなどが始まりました。12月13日に人事説明会があり、本格的に動いていくということになっております。

2つ目は、令和2年度の教科用図書採択についてです。教育委員の皆様にお願ひがあります。教科用図書調査研究協議会委員の推薦についてということで、5ページに地区別採択協議会と調査研究協議会がありますが、ここで関わる教育委員さんを選出していただくことになります。本日は2名の教育委員さんが出揃っておりませんので、お揃いのときに12月中に選出さ

せていただきたいと思います。その後、1月23日に事務所に提出ということになっております。よろしくお願いいたします。

3つ目は、7ページの全国学力・学習状況調査及び福岡県学力調査結果の公表の状況についてのお知らせです。筑紫野市から糸島市まで、どのように公表しているかが表で示されております。裏面の8ページにも、書かれておりますので、参考にしてください。

4つ目は、9ページの不祥事防止対策の徹底についてです。11月6日に、不祥事防止対策の徹底についてということで、県の教育委員会が行われています。福津市では、飲酒運転撲滅ということで、宣誓書を先生方に書いていただく取り組みをしております。それは県で実施しているものを参考にし、各学校で実施するようにしております。12月6日が締め切りになっております。飲酒の機会が、年末にかけて多くなりますので、その前にというところで、また周知徹底をしていきたいと考えております。

以上です。

柴田教育長：ありがとうございました。

管内教育長会の報告でした。この時期になりまして、人事が動き始めましたので、人事の取り扱い業務等、あるいは来年度の中学校の教科用図書の採択の時期になりますので、それについての報告でした。今年度は藤井委員に調査研究協議会の委員になっていただいておりますが、来年度も教育委員の4名の方からどなたか1名の方をお願いすることになると思います。教育委員の方がお揃いのときに、また御相談させていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

報告が4点ありましたが、何かお聞きになりたいことはありますか。

今村委員：質問してもよろしいですか。

全国学力・学習状況調査について、公表の仕方をこのようにしてほしいといった要望や要請はありますか。

柴田教育長：このように公表してほしいという要望はありません。むしろ公表しないでほしいという要望のほうが強いです。特定の教科の結果で、全ての学力が決まるように誤解を招くおそれがあるとおっしゃる方もいらっしゃいます。国語や数学、あるいは英語や理科だけで学力を決めつけるような受け取り方をする方もいらっしゃるのではないかと思います。また、学校別に公表すると、対象は特定の学年だけですので、小規模校の場合、もし結果が悪かったりしたら、あの担任の先生のせいだと言われるかもしれません。それについても良くないと思います。藤岡指導主事から何か補足はありますか。

藤岡指導主事：公表については、福津市で統一しており、学校にも伝えていま

す。これはあくまでも学校の教育活動に対して課題があったので、今後このような授業改善をしていきますということを明確にするというような趣旨でございます。

市教委としても調査した教科の数値と児童調査アンケートをホームページに掲載しており、各学校においても各学校のホームページで、今後の改善策を示しております。学校別に比較することが目的ではなく、あくまでも地域や保護者、また児童生徒にとって、よりよい授業を提供するという趣旨で公表しておりますので、そのような公表の仕方についての意見や要望は特にありません。

今村委員：ありがとうございました。

柴田教育長：それでは次の福津市教育懇話会への諮問について、重富教育部理事よりお願いします。

重富理事：教育総務課の重富でございます。

福津市教育懇話会への諮問について報告をさせていただきます。資料は10ページになります。

今年度の福津市教育懇話会には、福津市コミュニティ・スクール充実・発展に係る小・中連携強化の方策について諮問をしたいと考えているところでございます。詳細につきましては、学校教育課の指導主事のほうから御説明いたします。

藤岡指導主事：今後コミュニティ・スクールの充実・発展に係る小・中の連携を強化していきます。その協議をしていただくために、福津市のコミュニティ・スクールの現状と課題をまとめさせていただいております。コミュニティ・スクールを充実・発展させることが目的ではなくて、充実・発展することによって、小学校と中学校の義務教育課程の9年間の子どものよりよい成長を願うものです。

福津市としては、これまでも小学校と中学校の連携を進めてきた経緯があります。小学校と中学校の連携の取り組みで一番大きいところは、教育課程の策定です。小学校と中学校で学びをつなげていくために様々なカリキュラムを策定しているところです。福津市のコミュニティ・スクールの現状としては、そのような連携の枠組みや仕組みは大分整いつつあり、学校、家庭、地域が協働して子供を育てていこうという、そのような目的の共有までは、随分進んできたと思っております。

課題としては、教員の中でも義務教育の9年間で小学校と中学校が連携していくという目的は共有できているのですが、小学校の低学年の教員であれば、中学校の卒業を見据えた教育活動への意識はまだ薄いと思います。

昨日も福岡東中学校のある協議会の中で、小学校の学習の内容を踏まえた上での中学校の授業が大事だという意見が挙がっていました。中学校教員が小学校の何年生でどのような内容の学習をしているかを把握することで、よりよい小学校と中学校

の連携に繋がり、さらに内容の理解まで深まっていくのではないかという御指摘が実際にありました。そのような小学校教員の意識や、中学校教員の小学校でしている学習の理解など、さらなる充実を図っていく必要があると考えています。

小中一貫教育が進んでいる学校の取り組みとしては、「学年段階の区切りの柔軟な設定」や「相互乗り入れ指導」、「小学校高学年の教科担任制」があります。現在は小学校と中学校で6年と3年に区切られていますが、柔軟に区切りを変えるような取り組みができるのではないかと思います。「相互乗り入れ指導」については、中学校の専門性を持った教員が小学校の指導に行くことや、小学校が中学校に関わることで、小学校から中学校に進学した子どもたちも、小学校の先生からまだまだ自分たちのことを見てもらえていると感じ、不安感の解消にも繋がります。さらに専門性のある指導が小学校にも行き渡っていきます。福津市でさらにコミュニティ・スクールを発展させていくためには、そのような取り組みが必要なのではないかと考えているところです。

そこで、小学校と中学校でどのような連携強化ができそうなのかということを今後協議していく必要があると思ひまして、提案をさせていただきました。

以上です。

柴田教育長：福津市がコミュニティ・スクールを全小・中学校に導入したのが平成23年ですので、今年で9年目を迎え、来年10年目になります。当然今が発展期であり、さらなるコミュニティ・スクールのあり方を進めていこうということで、特に小学校から中学校への円滑な接続を進めていこうということです。

今村委員：『福津市の課題』の2番目に「中学校の教員は、小学校のどの学年で何を学んで、何につまずいて今の子どもたちの姿があるのかを知った上で指導に当たっているかについては不十分である。」とありますが、まさにこの通りだと思います。逆に言えば、中学校の教員からも小学校に対して、例えば数学の場合、分数でつまずいているので、小学校でより丁寧に指導してほしいといったことを伝える必要があると思います。小学校と中学校の連携は以前から進めていることだと思いますが、その強化はやはり大事だと思います。

それと地域との連携は、現在小学校と中学校で別々に行っていると思います。小学校と中学校が一緒に地域との連携を行うことは地域を巻き込むことになるのでなかなか難しいと思います。まずは指導主事が言われたように、教育課程の面での連携を先に進めるべきだと私は思います。

榊部長：先日、津屋崎中学校の学校訪問がありました。学校の経営方針として、勝浦小学校や津屋崎小学校との中学校区単位での協議を今年度増やしており、また来年度も増やす取り組みもされて

いるとおっしゃっていました。現状として、保幼小の接続会議というものが昨年度の準備委員会を経て、今年度協議会が立ち上がっています。ある意味、コミュニティ・スクールの発展期中で、福間中学校区もそうですし、福間東中学校区のほうでも、教職員の中で9年間の学びの中で子ども達を育てていくという意識がかなり高くなってきております。その中で一定の協議・検討をしていくべきだろうということで、提案をさせていただきます。

今村委員：この間の勝浦小学校の学校訪問でも、教育長が言われたように、勝浦小学校の6年生が中学校の授業を参観することは良いと思います。

柴田教育長：ぜひ、勝浦小学校のような小規模校の場合は、小学校6年生から中学校1年生の授業を何回か体験させるといった取り組みをしてほしいと思います。児童数が少ないので取り組みやすいと思います。

今後の小・中連携強化の方策について、教育懇話会に諮問をして意見を聞いて、ソフト面の強化に図りたいと思っていますところです。

4 日程第4 その他

柴田教育長：それでは、日程の第4、その他、今後のスケジュールについて、笹田総務企画係長よりお願いします。

笹田係長：失礼します。

本日以降のスケジュールについて、11ページに載せております。教育委員の皆様にかかわる部分を御案内いたします。

11月21日（木）、福間南小学校で定期学校訪問が行われます。

11月30日（土）、津屋崎小学校で東雲祭が行われます。

12月13日（金）、福津市学校管理職との交流会が予定されております。

12月24日（火）、教育委員会定例会が行われます。次回は庁議室で9時半より行う予定です。

以上です。

柴田教育長：11月30日（土）にカメラアステージで午後から福岡県の中学生の英語スピーチコンテストというのがあります。ご覧になられても良いかと思います。

また、12月1日（日）も、宗像ユリックスで福岡県の中学校文化連盟総合文化祭筑前大会及び第10回文化連盟総合文化発表会があります。こちらもお時間がありましたら、子ども達の活動を見に来られてください。

それから12月5日（木）、勝浦小学校の音楽教育の実践交流会があります。福岡地区の小学校は170校以上あるのです

が勝浦小学校がその代表です。

5 日程第5 閉会宣言

柴田教育長：それでは、本日の教育委員会定例会はこれにて、閉会をいたします。ありがとうございました。